

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3558		
科目名	国際テロリズム論		
担当教員	金 恵京, 工藤 聡一		
対象学年	3年, 4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け (開発能力)	<p>前半</p> <p>■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリクック (CR) との関連</p> <p>A1 グローバル感覚 (20%)</p> <p>E1 学識と専門技能 (30%)</p> <p>H2 批判的思考 (25%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (25%)</p> <p>後半</p> <p>■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係</p> <p>DP2-E [学識・専門技能] 国際教養人としての感性与グローバルに行動できるコミュニケーション能力</p> <p>DP3-F [探究力・課題解決力] 問題を探求し、状況を的確に把握・分析して、合理的な判断につなげられる知性</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-G [状況把握力・判断力] 多様な価値を受容し、対立を乗り越え、協働を通じて社会の安定、安全と世界の平和を希求する公共心</p> <p>■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリクック (CR) との関連</p> <p>E1 学識と専門技能 (40%)</p> <p>F1 探求と論拠 (20%)</p> <p>G1 状況把握 (20%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (20%)</p>		
教員の実務経験	前半の授業を担当する教員は、アメリカにおける弁護士としての経験、および日本において「国際法によるテロ規制」についての研究で博士号を取得した経緯を評価され、2016年から韓		

	<p>国の外交部（日本の外務省に当たる）のテロ対策に関する諮問委員として活動しています。本授業では各国で得た経験を生かすと共に、グローバルな時代を生きていく学修者にとって必要な知識を還元していきます。</p>
成績ターゲット区分	<p>■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期</p>
科目概要・キーワード	<p>現代におけるアルカイダ、イスラム国などの国際テロ・ネットワークの活動は、国際テロリズムが社会に与える影響力の大きさを浮き彫りにしました。2001年の米国同時多発テロ事件以降の米国の「テロとの戦い」は、国際的な対テロ法制・テロ対策の整備につながり、現在は世界各国で国際テロリズムを防ぐための協力構築が求められています。授業では、NBC兵器拡散の防止、テロ資金やマネーロンダリング対策、航空機など運輸システムの安全管理、出入国管理など、テロリズムに対する国際的な対応について考察する。その際受講生は、テロ事件等を微視的な目で見るとはならず、それぞれの事象の背景・本質を幅広い視点で捉え、いかに文明間、民族間に根付いている憎悪を取り除き、世界が共存共栄できるかを考える。</p> <p>開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。</p> <p>(キーワード)</p> <p>・国際テロリズム ・国際的テロ法制 ・テロ対策 ・安全管理 ・航空テロ ・9.11</p>
授業の趣旨	<p>■副題 前半の副題 「国際法によるテロ規制とその課題」 後半の副題 「航空テロ対策の諸課題」</p> <p>■授業の目的</p> <p>前半は、国際法や歴史的経緯を踏まえ、テロの定義やテロ対策を検討していきます。その中では、現状を踏まえつつ、人権や人道といった国際的な蓄積とテロ対策を両立することが焦点となります。本授業では、国際的なテロリズムという事象を通じて、その理解に止まらず、批判的思考も同時に身につけることを目的としています。</p> <p>後半は、世界を震撼させた9.11同時多発テロ後の航空テロ対策を典型的に確認し、実務上の課題を明らかにします。航空テロ対策を実効性と許容性の観点から複眼的に考察なかで、物事を批判的に分析する能力を開発することを目的としています。</p> <p>■授業のポイント</p> <p>前半の講義では、「テロの定義」および「テロへの法的対応」についての認識を深めることに重点を置きます。国内法および国際法を用いてテロに対応するためには、その理念を知らなければ適切な運用はできません。そこで、条約等についての知識を講義形式で身に付けながら、それを踏まえて「現在の課題にどう対処するか？」をそれぞれに検討することで理解を深めます。</p> <p>後半の講義では、航空テロの歴史からはじめて、国際法による抑止のための取組み、さらには米国の所管庁による対処のための取組みをたどります。このなかで、2001年米国同時多発テロが航空セキュリティに与えたインパクトの大きさを感じるとともに、これによって様変わりしてしまった世界に生きる我々が、当事者として向き合うべき課題を確認します。</p>
総合到達目標	<p>■前半、後半を通じて国際テロ対策に必要な基本的法学知識から、より専門的に分析されたテロの手口に至る知識を学び、自分の身を守る技術を身に付けるために理論と実践を組み合わせることでテロ事件への対策を実際に習得することができる。</p> <p>・国際テロの定義や法的関連性を学び、テロ事件への対応能力を磨き決断力を身に付けることができる。(第1～3回目)</p> <p>・市民や国際社会が形成してきた法的到達点の境界を認識することで、混乱に流されない視野を獲得することができる。(第4～7回目)</p> <p>・航空テロの歴史とその対処の取組みを分析的に把握することができる。(第9～15回目)</p>
成績評価方法	<p>■評価の全体に占める割合 前半部分：50% 後半部分：50%</p> <p>■前半部分では以下の方法で総合的に評価します。</p> <p>毎回提示する小課題は、授業における議論の代替として位置づける。授業の内容を聞き、教科書の内容を踏まえ、国際テロリズム周辺の課題を捉えるものである。その提出と内容をもって、授業参加度を算定する。</p> <p>■(適用ルーブリック-割合) A1-20%、E1-30%、H2-25%、I1-25%</p> <p>■授業参加度(25%)、最終レポート(25%) 適用ルーブリック E1、H2 (評価基準) 授業内で重点的に解説した箇所について、「個々の事例や条約を系統立てて理解しているか」「複眼的視野を備えているか」を判定します。 (フィードバック方法) 最終レポート提出後、課題部分の解説として教科書該当ページをポータルシステムにて公開します。</p> <p>■後半部分では以下の方法で総合的に評価します。</p> <p>■レポート1回(20%) 適用ルーブリック E1、I3、</p>

	<p>(評価基準) 航空テロ対策と人権の衝突局面を分析的に説明できるかどうかについて評価します。</p> <p>(フィードバックの方法) 出題の意図、回答例を後日解説します。</p> <p>■リアクションペーパー6回(30%) 適用ルーブリック EI、G1、I1</p> <p>(評価基準) 当該回の授業内容を正しく理解しているか、及びそれに対するコメントの適切性を評価します。</p> <p>(フィードバックの方法) 翌週以降の授業で、総評をフィードバックします。</p>								
履修条件	特に履修条件を設けません。								
履修上の注意点	国際的なテロは日本でも常に起こりうるという危機意識を持ち、グローバル化した世界情勢を正確に捉え、真剣にテロへ向かい合い対策を考えてもらいます。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 443 515 495">回</th> <th data-bbox="515 443 1497 495">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 495 515 1626">1</td> <td data-bbox="515 495 1497 1626"> <p><前半部分></p> <p>①授業テーマ 前半部分に関するガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。本授業では、テロに関わる法律の成り立ち、およびそれらを順守する必要性についての理解を深めるために講義と議論の双方を重視します。議論の進め方についても初回で指導します。(F1、F2)</p> <p>予習(120分) この授業では、必要と思われる条文、あるいは教科書の内容を予め読んだ上で、疑問点を明確にして講義に臨むことを求めます。予習によって授業における議論の質が左右されるという認識を持つことが重要です。</p> <p>④復習(120分) この授業の復習としては、講義内容を自ら説明できるようにすることを求めます。また十分に予習ができなかった時は、復習に重点を置く必要があります。</p> <p><後半部分></p> <p>①授業テーマ 後半部分に関するガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。人の生命と財産を守ることの重要性和、この種の任務に就く者の心構え、学習方法、研究の方法についても指導する。</p> <p><前半/後半を通した予習・復習></p> <p>③予習(120分) 前半部分の授業では、必要と思われる条文あるいは教科書の内容を予め読んだ上で、疑問点を明確にして講義に臨むことを求めます。予習によって授業における講義の質が左右されるという認識を持つことが重要です。</p> <p>後半部分では、教科書の一定部分や教員が事前に手交した資料等を精読及び要点の整理を行い、授業での発表の準備を行う。</p> <p>④復習(120分) 前半の講義の復習としては、講義内容を自ら説明できることを求めます。また十分に予習ができなかった時は、復習に重点を置く必要があります。</p> <p>後半部分の復習は、各種提出物、授業内テストに対応できるよう各自で行う。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1626 515 1991">2</td> <td data-bbox="515 1626 1497 1991"> <p><前半部分></p> <p>①授業テーマ テロの定義をめぐる議論</p> <p>②授業概要 現在、安易に「テロ」という言葉が用いられる一方で、法学の分野では、その定義の不確定さゆえに国内外で課題を生じさせています。そこで生じる問題点や構造を理解することを目的とします。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第1章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、関連する資料などを収集・整理する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1991 515 2157">3</td> <td data-bbox="515 1991 1497 2157"> <p>①授業テーマ テロ対策と法的蓄積との関係性</p> <p>②授業概要 テロを防ごうと考えれば、市民のプライバシーを関知せずに各種の情報を収集することが有効に見えます。しかし、その際には市民社会が各種の権利を獲得してきた歴史と</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p><前半部分></p> <p>①授業テーマ 前半部分に関するガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。本授業では、テロに関わる法律の成り立ち、およびそれらを順守する必要性についての理解を深めるために講義と議論の双方を重視します。議論の進め方についても初回で指導します。(F1、F2)</p> <p>予習(120分) この授業では、必要と思われる条文、あるいは教科書の内容を予め読んだ上で、疑問点を明確にして講義に臨むことを求めます。予習によって授業における議論の質が左右されるという認識を持つことが重要です。</p> <p>④復習(120分) この授業の復習としては、講義内容を自ら説明できるようにすることを求めます。また十分に予習ができなかった時は、復習に重点を置く必要があります。</p> <p><後半部分></p> <p>①授業テーマ 後半部分に関するガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。人の生命と財産を守ることの重要性和、この種の任務に就く者の心構え、学習方法、研究の方法についても指導する。</p> <p><前半/後半を通した予習・復習></p> <p>③予習(120分) 前半部分の授業では、必要と思われる条文あるいは教科書の内容を予め読んだ上で、疑問点を明確にして講義に臨むことを求めます。予習によって授業における講義の質が左右されるという認識を持つことが重要です。</p> <p>後半部分では、教科書の一定部分や教員が事前に手交した資料等を精読及び要点の整理を行い、授業での発表の準備を行う。</p> <p>④復習(120分) 前半の講義の復習としては、講義内容を自ら説明できることを求めます。また十分に予習ができなかった時は、復習に重点を置く必要があります。</p> <p>後半部分の復習は、各種提出物、授業内テストに対応できるよう各自で行う。</p>	2	<p><前半部分></p> <p>①授業テーマ テロの定義をめぐる議論</p> <p>②授業概要 現在、安易に「テロ」という言葉が用いられる一方で、法学の分野では、その定義の不確定さゆえに国内外で課題を生じさせています。そこで生じる問題点や構造を理解することを目的とします。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第1章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、関連する資料などを収集・整理する。</p>	3	<p>①授業テーマ テロ対策と法的蓄積との関係性</p> <p>②授業概要 テロを防ごうと考えれば、市民のプライバシーを関知せずに各種の情報を収集することが有効に見えます。しかし、その際には市民社会が各種の権利を獲得してきた歴史と</p>
回	内容								
1	<p><前半部分></p> <p>①授業テーマ 前半部分に関するガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。本授業では、テロに関わる法律の成り立ち、およびそれらを順守する必要性についての理解を深めるために講義と議論の双方を重視します。議論の進め方についても初回で指導します。(F1、F2)</p> <p>予習(120分) この授業では、必要と思われる条文、あるいは教科書の内容を予め読んだ上で、疑問点を明確にして講義に臨むことを求めます。予習によって授業における議論の質が左右されるという認識を持つことが重要です。</p> <p>④復習(120分) この授業の復習としては、講義内容を自ら説明できるようにすることを求めます。また十分に予習ができなかった時は、復習に重点を置く必要があります。</p> <p><後半部分></p> <p>①授業テーマ 後半部分に関するガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。人の生命と財産を守ることの重要性和、この種の任務に就く者の心構え、学習方法、研究の方法についても指導する。</p> <p><前半/後半を通した予習・復習></p> <p>③予習(120分) 前半部分の授業では、必要と思われる条文あるいは教科書の内容を予め読んだ上で、疑問点を明確にして講義に臨むことを求めます。予習によって授業における講義の質が左右されるという認識を持つことが重要です。</p> <p>後半部分では、教科書の一定部分や教員が事前に手交した資料等を精読及び要点の整理を行い、授業での発表の準備を行う。</p> <p>④復習(120分) 前半の講義の復習としては、講義内容を自ら説明できることを求めます。また十分に予習ができなかった時は、復習に重点を置く必要があります。</p> <p>後半部分の復習は、各種提出物、授業内テストに対応できるよう各自で行う。</p>								
2	<p><前半部分></p> <p>①授業テーマ テロの定義をめぐる議論</p> <p>②授業概要 現在、安易に「テロ」という言葉が用いられる一方で、法学の分野では、その定義の不確定さゆえに国内外で課題を生じさせています。そこで生じる問題点や構造を理解することを目的とします。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第1章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、関連する資料などを収集・整理する。</p>								
3	<p>①授業テーマ テロ対策と法的蓄積との関係性</p> <p>②授業概要 テロを防ごうと考えれば、市民のプライバシーを関知せずに各種の情報を収集することが有効に見えます。しかし、その際には市民社会が各種の権利を獲得してきた歴史と</p>								

	<p>評価を踏まえる必要があります。そこで、本授業では意思決定に際して、法的・歴史的要素をいかに考慮するかを理解し、関連法的確な運用のために必要な意識を身につけることを目的とします。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第2章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、「テロ対策の望ましい境界」に関わる資料を収集・整理する。</p>
4	<p>①授業テーマ 航空機テロへの法的対応</p> <p>②授業概要 第二次世界大戦後、航空機が一般にも使用されるようになったことで、ハイジャックが頻発しました。そして、国境を跨ぐことの多いハイジャックは国内法だけでは対処できず、関連条約が徐々に整備されました。その背景や関連事例についての情報を知り、法的課題を理解することを目的とします。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第3章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、各種のハイジャック事例について資料を収集・整理する。</p>
5	<p>①授業テーマ 人質テロ、海上テロへの法的対応</p> <p>②授業概要 現在、人質テロや海上テロに関しては、十分に条約が活用されてはいません。人質テロに関しては、人質解放に際して超法規的措置や軍隊・特殊部隊の投入が行われやすいことが課題です。また、海上テロは海賊との線引きが難しいという問題があります。解決が法だけでは難しいとされる二つのテロに対して、どのように法を活用するのかについて理解を深めます。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第4章、第5章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、人質テロ、海上テロに関する資料を収集・整理する。</p>
6	<p>①授業テーマ 核物質テロ、核テロへの法的対応</p> <p>②授業概要 冷戦終結後、核兵器がテロに使用されるという危険はしばしば語られるようになりました。また、実際に言論人に対する核物質テロの疑いが強いリトビネンコ事件も発生した。原発に対するテロへの危機感も東日本大震災以降、高まっています。「それらのテロ案件について、どのように法は対応できるのか」との命題を検証することで、危険度の高いテロを回避する道を探ります。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第6章第2節、第5節を読んでおく。また、参考書『無差別テロ』の第1章の読了を望みます。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、核物質テロや核テロについての新聞記事等の資料を収集・整理する。</p>
7	<p>①授業テーマ 爆弾テロ、テロ資金への法的対応</p> <p>②授業概要 爆弾テロに関しては、条約が整理されています。しかし、1980年代以降、爆弾テロの無差別性が高まり、大規模化したことについて事例を通じて検証する必要があります。また、テロの被害がより深刻なものとなったことは、テロ資金への注目も高めることとなりました。それに基づき成立した「テロ資金供与防止条約」は、従来課題となってきたテロの定義の問題を回避しつつ、包括的にテロ防止を図ろうとしている。そこで、マネーロンダリングの問題も含め、今後の国際社会がどのような法体制を形成すべきかについての理解を深めます。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第6章第3・4・6節、第7章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、関連する資料を収集・整理する。</p>
8	<p>①授業テーマ 国際テロ関連条約と被害者補償について</p> <p>②授業概要 国連でも包括的テロ防止条約が検討されるなど、テロに対して条約の包括性を高めることは国際的な傾向となっています。しかしながら、テロの定義の問題をはじめ授業で</p>

	<p>紹介してきた課題がその成立を阻んでいる状況がある。また、無差別テロが頻発している状況は被害者補償の必要性も高めています。そこで、各国の被害者補償の法制度を比較し、課題を明らかにしつつ、テロについての考察や展望を深めます。前半部分の講義のまとめという意味で教員が提示するテーマに基づいて次週までにレポートを作成、提出することとします。フィードバックとして、レポート提出後、対応題部分の教科書該当ページをポータルシステムにて公開します。(E1、H2、I1)</p> <p>③予習(120分) 教科書の第8章を読んでおく。</p> <p>④復習(120分) 授業の内容を踏まえ、「テロとは何か」という点に関わる資料を収集・整理すると共に、自らの視点を確立する。</p>
9	<p><後半部分></p> <p>①授業テーマ 後半のガイダンス「世界が変わった日」</p> <p>②授業概要 2001年の米国同時多発テロによって変わってしまった世界観と、テロ対策を考えます。(E1、F1)</p> <p>③予習(120分) 2001年米国同時多発テロの背景と概要を調べてくる。</p> <p>④復習(120分) その日の授業で使用した資料等をファイルし、再度目を通しておく。</p>
10	<p>①授業テーマ 「爆弾魔は記念日を狙う。」</p> <p>②授業概要 同時多発テロ後も、テロリストは、クリスマス、9月11日などの「記念日」を狙った攻撃を仕掛けてきました。いまでも続くテロの脅威から、現代の民間航空が備えるべきテロリスクについて学びます。(E1、G1)。</p> <p>③予習(120分) 2001年米国同時多発テロ後に発生した航空テロ事件・未遂事件を調べてくる。</p> <p>④復習(120分) 授業で使用した資料等をファイルし、再度目を通しておく。</p>
11	<p>①授業テーマ 「デジタル・ストリップ」</p> <p>②授業概要 ここから、航空テロ対策の「現在」を多角的に考えていきます。今回は、「異物検出型スクリーニング」です。かつての金属探知機にかわる「ボディ・スキャナー」への期待とその課題を取り上げます。(E1、G1、I1)</p> <p>③予習(120分) 「ボディ・スキャナー」がなぜ必要とされたのか調べてくる。</p> <p>④復習(120分) 授業で使用した資料等をファイルし、再度目を通しておく。</p>
12	<p>①授業テーマ 「ブラック・リスト」①</p> <p>②授業概要 航空テロ対策の「現在」を多角的に考えていきます。今回は、「個人識別型スクリーニング」です。米国連邦政府が運用するテロリスト・データベースへの期待とその課題を取り上げます。(E1、I3)</p> <p>③予習(120分) 米国連邦政府が運用するテロリスト・データベース(TSDB)の仕組みを調べてくる。</p> <p>④復習(120分) 授業で使用した資料等をファイルし、再度目を通しておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 「ブラック・リスト」②</p> <p>②授業概要 航空テロ対策の「現在」を多角的に考えていきます。今回は、「個人識別型スクリーニング」です。米国連邦政府が運用する「セキュア・フライト」プログラムへの期待とその課題を取り上げます。(E1、I1)</p> <p>③予習(120分) 米国連邦政府が運用する「セキュア・フライト(Secure Flight)」プログラムの仕組みを調べてくる。</p>

	<p>④復習(120分) 授業で使用した資料等をファイルし、再度精読しておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 「静かな空 (Quiet Skies) 」</p> <p>②授業概要 航空テロ対策の「現在」を多角的に考えていきます。今回は、「行動観察型スクリーニング」です。2018年夏に米国地方紙Boston Globeがリークした、米国連邦政府の秘密プログラム「静かな空 (Quiet Skies) 」の意図と課題を取り上げます。(E1、I3)</p> <p>③予習(120分) Boston Globe紙の「Quiet Skies」関連記事を調べてくる。</p> <p>④復習(120分) 授業で使用した資料等をファイルし、再度精読しておく。</p>
15	<p>①授業テーマ 国際テロリズム論 (後半第9回～14回) のまとめ</p> <p>②授業概要 これまでの授業内容をおさらいし、理解度をはかるためのテストを実施します。</p> <p>③予習(120分) 後半の第9回～14回授業で使用した資料、自らの講義ノートに目を通しておく。</p> <p>④復習(120分) 過去の授業で使用した資料のファイルを確認し、当講義で修得した知識・分析結果の定着に努める。</p>
関連科目	<p>■前半 「国際政治学 RMGT 3552」および「国際法 RMGT 3451」(2年次前期)は、各種のテロの事例を国際法を通じて分析していく本講義と密接に関係しています。</p> <p>■後半 「危機管理概論Ⅰ及びⅡ RMGT 1301-1302」(1年次前期、後期)、「国際法 RMGT 3451」(2年次前期)、「海外安全対策 RMGT3559」(3年次後期)、「事故責任法制 RMGT3402」(3年次前期)、「国際協力論 RMGT3560」(3年次後期)は、危機管理の本質と国際協力の現状を把握し、効果的なテロ対策を考える上で本講義と密接に関係します。</p>
教科書	<p>■前半 教科書：金恵京『テロ防止策の研究』(早稲田大学出版部)</p> <p>■後半 教科書：特に指定しません。 (授業に必要な資料は教員がデータまたはリンクで受講生に提供します。)</p>
参考書・参考URL	<p>■前半 金恵京『無差別テロ』(岩波書店) 大沼保昭『国際法』(東信堂)</p> <p>■後半 https://www.tsa.gov/ https://apps.bostonglobe.com/news/nation/graphics/2018/07/tsa-quiet-skies/ (必要に応じて教員からデータまたはリンクを受講者に提供します。)</p>
連絡先・オフィスアワー	<p>■金恵京 連絡先 開講時に告知します。 オフィスアワー 木曜日 12時10分～13時40分(その他の時間でもメールでアポを取っていただければ研究室にて対応します。)</p> <p>■工藤聡一 連絡先 開講時に告知します。 オフィスアワー 水曜日 13時00分～14時30分(その他の時間でもメールでアポを取っていただければ研究室にて対応します。)</p>
研究比率	<p>■前半 災害マネジメント0%、パブリックセキュリティ30%、グローバルセキュリティ40%、情報セキュリティ30%</p> <p>■後半 災害マネジメント10%、パブリックセキュリティ30%、グローバルセキュリティ40%、情報セキュリティ20%</p>

